

2017年3月9日

2017年SUPER GT SERIES
TEAM TAISAN SARD 参戦体制を発表
チームの本拠地を福島へ移転

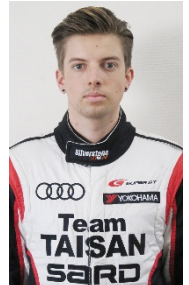
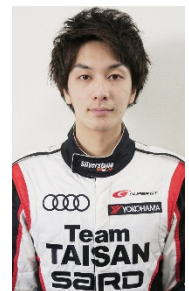
FUKUSHIMA

TAISAN × SARD *Racing*

Team TAISAN（代表：千葉泰常）と株式会社サード（代表：佐藤勝之）のジョイントチーム「Team TAISAN SARD」の2017年SUPER GT SERIES（GT300クラス）参戦体制について下記の通り決定いたしました。チームの本拠地を2017年シーズン中に福島県下へ移転設置する計画を立て、参戦する車名に「FUKUSHIMA」の名を入れます。福島の子供達に夢や希望を与え育て進出によるエンジニアやメカニックなどの雇用促進、福島から元気の発信などレーシングドライバー・エンジニア等の育成に力を注いでいく予定です。このような活動目的から福島への復興支援の一助となればと考えチームの福島県への移転をこのほど計画いたしました。

■2017年SUPER GT SERIES（GT300クラス）参戦体制

- ・チーム名 : Team TAISAN SARD（代表：千葉泰常）
 Team TAISAN時代にGT通算28勝、8回のチームチャンピオンに輝く名門。
 2000年ル・マン24時間 GTクラス優勝。
- ・車両名 : TAISAN SARD R8 FUKUSHIMA ゼッケンNo.26
 車両：AUDI R8 LMS（FIA-GT3車両）
- ・タイヤ : 横浜ゴム（ADVAN）
- ・第1ドライバー：山田 真之亮（やまだ しんのすけ：1992年8月29日生：24歳）
<https://www.facebook.com/shinnosuke.yamada.50>
 8才でカートデビューし、18才でFCJレースにデビュー。2013年にFJ日本一、JAF-F4への参戦権を得て、2014年はJAF-F4で活躍。2015年はFIA-F4に参戦、シリーズランキング4位（1勝）。2016年からSUPER GT参戦。
- ・第2ドライバー：Jake PARSONS（ジェイク・パーソンズ：1994年12月26日生：22歳）
<http://www.jakeparsons.net>
 オーストラリア出身。2004年カートデビューし、幾多のチャンピオン獲得。2013-2014年オーストラリア・フォーミュラフォード参戦。2014年FIAアジアカップシリーズチャンピオン（9勝）獲得、フォーミュラマスターチャイナ（3勝）を挙げたアジアオセアニア地区の期待の新人。
- ・チーム監督 : 野田 英樹（のだ ひでき：1969年3月7日生：48歳）
<https://www.facebook.com/hideki.noda.752>
 F1/INDYル・マン24hで活躍。2015-16 LEXUS TEAM SARD監督を務めた。
 SARD Racing Project GM、NODAレーシングアカデミー校長。



■車両カラーリング図



■Team TAISAN SARD 代表 千葉 泰常

「1994年にSUPER GTの前身である全日本GT選手権はスタートしたのですが、その年生まれのオーストラリア出身の若者ドライバーと福島の皆様と共にGT300クラス9回目のチャンピオンを目指す事は我々の夢であります。また、1998年来お世話になったクラシックカーイベント「ラ・フェスタ・ミレミア」参加者としても、再び福島の皆様とご一緒できる時を楽しみにしています。そして、7回目のル・マン24時間レース参戦も是非、皆様と共に夢を実現しましょう」



■株式会社サード代表取締役社長 佐藤 勝之

「今回の福島県下へのチーム移転につきまして、既に軽飛行機事業はふくしまスカイパークを拠点とすることを決めておりますが、サード軽飛行機事業で計画しているパイロットの育成に加え、日本のモータリゼーションをもっと豊かにレーシングドライバー、メカニック、エンジニアなど目指してもらえるように子供達に夢と希望を与えること、設置により現在から将来へ渡り雇用促進に繋がることや、福島に元気を届け、それらが復興支援に繋がるのでないかなど将来のことを考えての決断でした。早い時期に福島県下にガレージを設けたいと考えています。また多くの子供達を日本最高峰レースを体感できるようサーキットへ招待したいとも考えています。軽飛行機とレーシングチームを併せ福島から発信することで更なる相乗効果も期待しています。次世代へ優れた技術を継承するために夢への挑戦として拠点を福島県下に構えることとなります。また、2016年から開始したRed Bull エアレース室屋義秀選手のエンジニアリングサポートは本年度も継続いたします。そして、いよいよオリジナル機体（メイドイン福島）の製造へ着手いたします。サードが展開する陸海空の3分野のうち陸・空の2分野において独自の技術を駆使したオリジナルなパーソナル・モビリティを福島で展開していくこととなります。また、設置にあたって積極的にエンジニア、メカニックを採用し、モータースポーツ事業のSARD Racing Projectを基軸に総合的なモビリティ・コンストラクターとしての飛躍を目指し、軽飛行機、自動車レース、エアレースと相互に企画などのコラボレーションを推進し積極的に取り組んで参ります」



■情報参照先

- ふくしまスカイパーク : <http://www.ffa.or.jp/>
- 室屋義秀選手オフィシャルサイト : <http://yoshi-muroya.jp/>
- レッドブル・エアレース公式ウェブサイト : http://www.redbullairrace.com/ja_JP
- SUPER GT公式サイト : <http://supergt.net/jp/>
- サード公式ウェブサイト : <http://www.sard.co.jp>
- 本件に関するお問い合わせ先：サード広報担当：宮本 e-mail: media@sard.co.jp